

## ZKK メールマガジン 第7号 2023.9.22

\* 久々の発行となりました。申し訳ございません。

### 1. ZKK 夏期事業 盛会にて終了

多くの皆様のご参加により、夏期事業を盛会にて終了することができました。ご参加の皆様ありがとうございました。

〈参加者数〉

第73回研究大会 オンライン参加 99名 会場参加 60名 計 159名  
衣生活研修会 27名 + 日本縫製機械工業会から 13名  
食生活研修会 24名

◎参加者アンケートをホームページに掲載しましたのでご覧ください。

研究大会：<http://www.zenkokukateika-zkk.org/kenkyu.html>

夏期研修会：<http://www.zenkokukateika-zkk.org/company.html>

### 2. 機関誌『家庭科』3号発送準備中

研究大会特集号として、機関誌3号の発送準備を進めております。ご参加になられなかった方も、研究大会の講演や研修内容の要旨が掲載されますので、ぜひお読みください。

10月13日発行ですので、10月16日以降のお届けとなります。

### 3. 機関誌『家庭科』授業実践事例が多く引用！！

日本家庭科教育学会誌 Vol.66-2 掲載の資料「SDGs に関連する家庭科の実践事例及び教師の家庭科観」(小林陽子氏 大本久美子氏ご執筆)では、SDGs に関する家庭科実践事例を分析していますが、何と！！分析対象事例30中 15事例が、本協会機関誌『家庭科』の事例でした。学会誌をお持ちの方は、表1をご覧ください。機関誌がこのような形で研究に貢献できたことを大変うれしく思います。

よく読んでみると以下2つの点がわかりました。

1つ目は、授業実践事例を紹介する雑誌は、学会誌や研究紀要を除き数少ないこと。そして年間11事例を紹介する『家庭科』の実践事例がその分析対象に多く取り上げられるのは当然であったということです。

2つ目は、『家庭科』では SDGs に関連する授業実践が初期の段階から多く執筆されていたこと。SDGs 発効の2016年から2022年の事例を分析しており、2018年から SDGs に関連する事例が見られ、2018年の

事例はすべて『家庭科』の事例でした。このように『家庭科』は時代を先取りした授業実践事例を紹介していることがわかりました。

以上の点から、長年編集に携わる立場からも、自信をもって、機関誌『家庭科』の購読をお薦めします。皆様からお知り合いに全国家庭科教育協会をご紹介していただきたく、記事といたしました。

#### **4. 生活やものづくりの学びネットワーク 秋のフォーラム**

金融教育のワークショップです。参加費無料、オンライン開催ですので、お時間のある方はぜひご参加ください。詳細は添付しました案内チラシをご覧ください。

以上